

➤ 教育環境に関する意見交換会での意見

・再編に賛成する人の意見

3 ふるさと教育（地域活性）について 【教育環境に関する意見交換会結果報告書 P6～7】
小学校の間は、地域との結びつきが大事であると感じている。中学校はある程度、人数の多い方が競争し合えたり、いろいろな先生と関われたりするのでいいかと思う。
上庄に小学校を残してほしい。中学校は、ソフトボール部の人数が少なく他の部から借りてくることも考えている。
子どもたちの環境として一番望むのは、小学校の間だけは地元で育てたいと思うが、学校行事が成り立たなくなるような状況は望ましくないと思う。中学校については、最低2校は必要と考える。9年間安心した状況で過ごせることはいいことだが、新しい考え方が入って来ないことで、気付かないことがどんどん増え、高校に入ったとき、突然、不適応を起こすことがあるかもしれない。上庄という地域性は良いが、考えの多様性が失われる場合もあるので、新しい時代に必要な創造性や力がつけられない可能性もあるかと思っている。再編する場合は、子どもたちに負担がかからない形で考えてほしい。
小学校は地域に残してほしい。自分の生活の一端をとられるような気がしている。再編計画が出たとき、子どもが上庄小学校がなくなることにに対して寂しそうにしていた。中学校は部活の問題が一番であるが、選択肢が増えることでストレスになるのではないかと思っている。部活だけを市全体でつくるのがいいのではと思っている。複式のある学校の再編は、その地域で進めていただき、上庄は別で考えてほしい。
阪谷小学校は現在29人しかいない。昔に比べると運動会の種目も少なくなった。でも、地域の特色を生かした活動、田植えやどろりんピックなどを行っている。人数が少なくなったのでどこかと一緒になりたい気持ちはある。今すぐにも行きたい。阪谷に学校がなくなると人が住まなくなるかとも思っている。
適正規模や部活動などを考えると再編は仕方がないと思う。規模などは教育委員会に任せたい。再編後、地域とのつながりのある学習をどうしていくかなどを考えてほしい。地域に学校がなくても、そのようなつながりがあることで地域の人も違った見方をしてくれると思う。
先細りが見えている現状で統廃合は避けられない中、地域のための学校でなく子どものための学校であってほしい。地域が廃れるとよく聞かすが、地域は行政機関に任せて、学校は子どもを育てることにもっと力を傾けて良いと思う。教育の明確なビジョンを出してほしい。例えば、全国の中でも先進的にICTを進め、全教室にプロジェクターを入れるとか、全員にタブレットを持たせて勉強させるなどして、空いた時間に子どもたちを見守ったり、体験活動に力を入れたりするなどである。
子どもたちの良い教育環境とは、学校教育だけではないと思う。例えば、自分が住んでいる地区には小学生が3人だが、子ども神輿はやっている。育成会は休止している。地区の人が地区の子どもを育てていく環境（地区行事など）は止めてはいけない。社会教育・生涯教育の面で、子どもが少なく育成会などが行政区ごとに出来ない状況であり、広い範囲による育成会の活動を支援する働きかけをしてほしい。育成会がなくなると、ラジオ体操や夏祭りなどがなくなり、寂しい大野になる気がする。地域住民がどうやって子どもを育てていくかの面にも、学校教育と同じぐらい光を当てていかないといけないと思う。
複式学級を解消するような再編をした方が良いと思う。下庄小の今の環境がちょうど良く守っていききたい。自分が家を建てる時、近くに保育園や小中学校があるかを基準に選んだ。大野に来て感じたことは、地域の子どもは地域で守ることをすごく感じている。再編で地域に学校がなくなると不安を感じている人は多いと思う。
小学校は小規模校で良く、中学校は1校の再編でも良いと思っている。地域から学校がなくなると過疎化が進むと思う。村部の学校は自然も多く、子どもたちにとっては良い環境だと思う。若い人たちが村部に残る理由にもなる。
移住のとき、子どもが歩ける範囲に学校があることで安心できた。移住希望者の相談では、絶対学校について聞かれる。しかし、小学校と中学校は要素が違う。中学校は部活のこともあるが、大きいコミュニティの中で成長してほしいので、小学校より先に再編を進めてほしい。小学校時代は地域で育てていきたい。
小学校は地域の行事に参加して育ててもらえており、大事なことと思っている。小学校は人数が少なくても良い。中学校は部活や人間関係のことがあるので、多い人数の方が良い。中学校は1校ではなく、せめて2校だと思う。
考える力をつける環境が必要と考える。また、いろいろな体験ができることが必要。上庄は登下校で自然の四季を感じることができる。中学校は2から3校にして、出来る限り村部に配置してもらった方がいいと思う。部活は市全体で作って、練習場所へはスクールバスで送迎する方がいいと思う。
小学校と中学校では再編の意味が違うと思っている。小学校は地域とのつながりを覚えていく時期で、中学校は自分を高めていきたいという時期だと思う。小学校は歩いていける範囲にあった方がいいと思っている。
現再編計画では、地域との関わりが薄くなり、寂しくなると思う。地域と子どもの間を埋める代替案、公民館を使うなど、地域との関係を保っていきけるような方法があればと思っている。

<p>スクールバス通学になると子どもの体力が落ちると思う。行き帰りの道草の学習など上庄だから出来る子育てがあると思う。小学校の間は少人数で学習しても良い。中学校では、大きな所でもまれて社会に出る準備をしなければならない。上庄には独自のコミュニティがあり、安心感がある。地域のみんが見てくれる中で、のびのび育て欲しいと思っている。</p>
<p>地域と密着した教育をこれからも行い、子どもに地元の良さをもっと発信し、将来地元へ帰って来ようと思う子どもが1人でも増えると良い。</p>
<p>学校再編の第一は、子どもの幸せである。学校再編すれば、地域の良い伝統や文化を衰退させる。地域の要望を大切にしたい再編の見直しであって欲しい。地域の実情を無視した形であってはならない。</p>
<p>学校は教育の場である。保護者が中心になって学校をどうしたいのかを考え、それから、地域ではどうかと下りてくるのが良い。その後、地域でバックアップすることがあるのか、もし学校がなくなるのであれば、地域をどうすればいいのかは、後で考えればいいことである。</p>
<p>再編の中心は子どもだと思うが、先生が働きやすく、教えやすいという環境も大事である。また、地域で子どもを育てているということも考慮して欲しい。</p>
<p>再編は絶対必要と思うが、数合わせの再編はやめて欲しい。各地区の地域性を考慮しながら再編を進めて欲しい。</p>
<p>学校を再編することで、子どもの将来が確約されるという主張が先生から出てこない。再編は、市の財政を考え、経費が掛かるからという理由が柱になっていると思う。どこの地域の学校も1クラス5人ぐらいになったら、他の学校との再編を考えるのが自然であると思う。子ども中心に学校再編を考えないといけない。教育にはお金を掛けないといけない。上庄小が地域からなくなると、子どもの姿が見えなくなるので寂しい。子どもの姿が地域で見れることは癒しである。</p>
<p>ある規模の学校にしないといけないのは分かる。家族や校区の住民、地域の協調社会の中で子どもは育てていくべきと思う。それを踏まえて、学校の適正な規模を考えていかないといけない。以前は、子どもを育てることに対して効率主義を前面に出していたと思う。それぞれの地域で育てることを見失ってはいけない。</p>

・再編に反対する人の意見

<p>3 ふるさと教育（地域活性）について 【教育環境に関する意見交換会結果報告書 P16～17】</p>
<p>地域が衰退するので、少人数でも今の学校のままでいいと思う。</p>
<p>上庄は、地区に学校を残して欲しいという人が多いと思う。その意見が採用されるのかどうかの不安がある。意見集約がどのような形で反映されるのか。いろいろなパターンをシュミレーションして、経費をしっかりと出して欲しい。</p>
<p>子どもは複式でも、1学年に1クラスでも、たくさん児童がいる中でも、その中の1人として、生きる術を学ぶと思う。学校は地域のものとも基本的な思っている。子どもの頃から地域のいろいろな人を知っているのが当たり前と思っていた。地域の濃厚さは、校区が広がれば広がるほど薄れていく。音楽や美術などの教科の指導について、先生は専任ではないが一生懸命してくれると思うので、そんなに影響はないと感じている。部活については、全員が納得できる部に入れる訳ではない。子どもはやったことのないスポーツをやっているが、自分なりに頑張っているのが有難い。部活が一番思い出に残るかもしれないが、日々のいろいろな所で育てているのではないかと感じる。</p>
<p>移住を検討するとき、そこに学校があるか、保育園があるかを考えた。和泉なら特色もあり、子どもは成長してくれると感じた。地域と学校のつながりが深い。単に人数が少なくなってきただけで再編を考えるのは寂しい。インターネットを使ってグループワークなどをすれば、少人数をカバーできると思う。分校を残してほしい。</p>
<p>和泉のことを学ぶには、ここに学校がないと厳しいと思う。和泉昇竜太鼓、穴馬の紙すき、紅葉まつりの芋販売など地域にいるからこそ出来る学習がある。学校がないと良い伝統がなくなる。</p>
<p>自分は、集団登校をしながら、上の学年の子どもたちから交通マナーなどを学んだ。スクールバスで通うようになると、交通マナーを学ばなくなったり、体力がなくなったり、外で遊んだりしなくなると感じる。自然があるのに、教育に生かしていない気がするし、校外学習が減っている感じがする。</p>
<p>学校がなくなり人がいなくなることで、地域が疲弊することを考えると、里山を守るために草刈りをしたり、農道を整備したり、集落排水を維持したりすることが出来なくなる恐れがあり心配だ。</p>
<p>一番心配なのは、住んでいる地域に学校がなくなることによって過疎化することである。</p>
<p>学校は地域コミュニティの拠点の役目を果たしているため、高齢者から学校再編に対して、かなりの反対がある。</p>
<p>小学校が2校になると、市の中心部に学校が建てられると思いき、村部は過疎化すると思った。村部は人が少なくなると不安感があり、寂しいと感じた。</p>
<p>市街地に学校が再編されると村部に誰も住みたくなくなると感じる。</p>
<p>地区体協主催の運動会などには学校の子どもが参加してもらっているが、戻すほみになり、他の地区行事も実施が困難</p>

<p>になるかもしれない。地区の交流がどんどん減っていくのかと思っている。</p>
<p>市街の学校に再編となった場合、家から学校までの通学が片道1時間は掛かる。小学校1年生が毎日通うのは、体力的に無理ではないかと判断している。1番の問題は地域が元気でなければならない。そこに住む人や子どもも元気でなければならない。1つでも無くなったら地域は衰退する。よって、この地域に学校は絶対残すべきだ。</p>
<p>学校が再編されると地域が崩壊する。乾側小をなんらかの形、例えば特認校方式などで残して欲しい。子どもと地域とのつながりの場所を残していきたい。地域が崩壊したら、地域行事などでの助け合いがなくなる。子どもを大きい学校で学ばせたいと思うが、そうしなければならないのであれば、地域の活性化策を考えて欲しい。</p>
<p>中学校1校になると、小山地区の地域性がなくなる。市総体などの運営に影響があるのではないかとと思っている。</p>
<p>子どもは地域で育て、みんなで協力して育てるのが一番だと思う。勝山市は、未だに各地域に小学校1校ある。地域の中で学校がいろいろな行事をしている。我が子が複式でのびのび育ち、先生の目がすごく届いていた。低学年の子を良く世話をするとか、忘れ物をしない、校庭のゴミを拾うなどそのようなことをすごく先生が大切にしてくれた。小学校ではこういうことが大切だと思う。小さい子どもへの教育にはもっとお金をかけて欲しい。</p>
<p>上庄中の学校を利用して、小中一貫校にして欲しい。子どもが夏祭りで活躍してくれているので、再編で市街の学校へ通うようになった子どもが地区の行事に参加してくれるか不安である。</p>
<p>小学校が地区にあると地域の絆が深まる。年配者はこの絆を大事にしたいと思うから、再編に反対となる。上庄地区には小学校を残して欲しい。</p>
<p>再編計画で小学校2校、中学校1校になると聞いた時はびっくりした。下庄小がなくなることにショックだった。また、子どもたちと公民館が一体となった素晴らしい施設である有終西小（学びの里「めいりん」）がなくなることについても寂しく感じた。地域とつながりを大切にする教育を進めるとしているのに、地域から子どもたちがいなくなるのは矛盾していると思う。</p>
<p>地域の人の話より、子どもを主体とした再編をして欲しいという意見があったが、学校の存在は地域にとって大きなことである。また、不登校や発達障害の子どもたちが行きやすい学校にならないといけないと思う。その子どもたちのためにも、地域に学校を残していくべきと考える。</p>
<p>小学校は地域の核であると思う。子どもは大人に見守られている環境にある。バスで遠くの学校へ行くと、地域の方とのつながりがなくなると思う。</p>

➤ 将来の教育環境に関するアンケート調査回答（抜粋）

- ・問11 学校の再編で不安なことはありますか。で「ある」－「ケ その他」の意見について【記述回答／集約意見】

<p>2 地域（ふるさと教育、地区の衰退等）について 【アンケート結果 P76～77】</p>
<p>地域から若い人がいなくなる。</p>
<p>各学校の伝統等の継承。</p>
<p>学校のPTA役員は子供の親だけでなく、その校区で子供達の将来を考える人も参加してほしい。なぜならば、学校の子供は地域の宝として、地域にとっても大切に思う考え方が必要。</p>
<p>建物を建てるのが目的でなくより良い地域の教育を目標にされているのか考えたい。</p>
<p>学校がなくなった地域がなりたつのか？地域の伝統が絶えることもある。</p>
<p>地域の衰退が進んでしまわないか？</p>
<p>地域と住民のかかわりが少なくなる。</p>
<p>地域の消滅。</p>
<p>地域の衰退。</p>
<p>地域とのつながりを大切にしたい学習はどうするのか。誰が教えてつないでいくようになるのか。継承していけるのか。</p>
<p>地域から学校がなくなるとのこと…。</p>
<p>地域の衰退。</p>
<p>学校がなくなった地域の過疎化、外国籍の児童が増えていくのでは。</p>
<p>小学校がなくなると地区のまとまりはなくなる。</p>

エ→下校先、児童センターに帰る低学年はどうなる。 キ→村部はますます過疎化。 ク→人が使わないとさびれる。 ケ→地域の伝統芸能、宝…これまで各校で培ってきた地域の愛着は校区が広がった時、どうするのか。
地区、地域の衰退化
学校がなくなると地区がすたれるのではないか。
地域ごとの特色が薄れるのではないか。
小学校がなくなるとは地域コミュニティにとって大きな課題（それをどう克服していくか）
地域から学校を少なくすることが自治体の仕事と考えられる。
本音は一地区一小学校であってほしい
地域がなくなるのではないか。
地域（校区）との交流の場が失われるのではないか。

- ・問12 大野市の現在の教育環境や将来の教育環境に期待すること、要望することについて【自由意見／集約結果】

2 教育環境について（独自の教育等） 【アンケート結果 P82～84】
子供達が安心して通えるように、心温まる環境を作って。
現在の教育環境良いと思います。将来の教育環境はわかりません。
大野高校の空き棟を活用した奥越中高一貫など高校まで大野で育てる環境。再編による新校舎、既存教室の改修に合わせて、IT環境と人材確保、養護児童、生徒空間の確保。地域の支えで行っている行事が学校にとって不可欠なものか、各校で地域協議会を活用して洗い出し、そのうえで学校の機能を地域ごとに固める。
「進取の気象」…ただ現状維持もしくは少人数の集団生活では、甘えしかない!!厳しい現場にあってこそ強い人間が育つ。
再編は不安ではない。集まれば職員数も増え、より専門的な教育が受けられる。
教育現場で働いています。1学年1学級以下の学校が10/15です。1学年2学級以上の学校には、いろんな人間と関われるチャンスが単級のそれよりも多いと思います。教員数もいますから、多様な活動を子供に用意できると考えます。22世紀に向かう大野の教育百年構想(教育内容、人材育成、ハード面)が必要だと思います。
家庭・地域の良さを子供たちが感じることができると大野の教育環境はそれだけでも素晴らしいこと。
自ら課題を見つけ解決していく力をつけるには、人的環境が大切であると思う。物的環境だけに目を向けられないように考えていく必要がある。
今日のシンポジウムは、とてもよかったです。これからも、このような場を設けていただき、考える機会がほしいです。子供は子供から学ぶ考え方に賛成なので、人数が多く、見本となる環境を用意したい。
市独自の教育環境も大切にしていくこともよいと考える(一人一人を大切にすきめ細やかさ)
世の中(世界)のスタンダードを学ぶ事ができる教育環境が必要と考えます。あまりにも「井の中のかわず」という面が多く見られるので。社会に出てから学ぶのでは遅い。社会に出る前の世界標準の土台作りが大切。再編についてはメリットデメリットを考えたうえで、総合的に再編に賛成である。和泉地区のみ義務教育学校設置の案もありだと思ふ。
より良いより良いというが、上ばかりを求めていくと足元がぐらつくというような気がします。人口減少するから……というのではなくて、人口減少するなかでも人生道を歩く人としての基盤を育てる子供時代を生きる(学ぶ)学校教育として教育環境を準備する。ふるさと大野になるためにも大野独特の環境づくりをつくる。このシンポジウムを開催していただき本当にありがとうございました。
市外に在住している者ですが、身内が大野で暮らしている様子を目の当たりにすると、大野市の現状に合った教育方針があっても良いように思います。他の市町では学ぶ事が出来ない、体験することが出来ないすばらしい社会資源があるので、それを活かしたアクティブラーニングをすすめても良いと思います。
学校再編のことがやはり注意を引きますが100%同意は得られません。現在の、未来の子どもたちのためにより良い教育環境を目指してよろしく願います。一保護者、一地域の住民として精一杯協力します。
他校との交流の回数を増やしてほしい。
他校同士の子どもたちによる1泊2日でのスキー教室やイベントなどを、市教委から各機関に働きかけをしてほしい。他校との交流について、可能な範囲で回数を増やしてほしい。特に低学年においては、保育園からの友だちといった意味でもお願いしたい。
個人個人が昨日より今日できる事をほめてもらえる教育環境が良いです。

<p>大野市は、これまでも、これからも優秀な人材を育てていくことができる落ち着いた環境と優れた教育者に恵まれていると思います。残念なのは、国家が望ましいと考える教育に忠実過ぎて、大野市のために活躍する人材育成の視点が弱すぎたと思います。ぜひ、もっと我がままに人材育成していただきたいと思います。優秀なサラリーマン、官僚の卵をたくさん育てても、大野に帰って来て貢献していただいたのは、大野市役所にお勤めの皆様を含む、ごくごく一部です。安倍内閣は、本社機能を地方に移転するなどの数値目標を掲げましたが、達成にほど遠い状況です。都会の大会社に入って世界と競争、活躍することを目指す人材よりも、身近な地域の課題を目ざとく見つけ、その解決策をビジネスに仕立てて、小さな雇用を生み出せるような人材育成に重きをおいていただきたいと思います。</p> <p>福井県が大野市にある高校の数を減らそうとしてきたら、大野市立高校にするか、勝山と組合をつくってでも残して、独自性のある教育、大野に必要な人材、いずれ大野に帰って来て、大野の持続的発展に貢献する人材を育成する仕組みをつくっていただけることを願っています。</p> <p>学校再編の問題を機会に、村部の子育て世代は、これまで希薄過ぎた危機感が高まっていると感じます。地域の存続、活性化のために、このままではダメだと考える人も増えているようですが、そこから、何をどうすればよいのか、途方に暮れている状況だと思います。シニア世代との温度差もあるように感じます。他市では、公民館からコミュニセンターへの衣替えが進み、地域住民による自治、地域経営を後押ししているように感じます。これまで地域は市役所に大きく依存してきたと思いますが、このままではいつまでたっても、自立は望めないと思います。大野市でも地域の自立を後押ししていただける仕組みづくりを願っています。</p>
子どもたちのことを考えた、子どものための教育環境を整え、そのために細かな説明や準備をしていってほしい。
大野市ならではの教育、指導内容を盛り込んでほしい。大野市の良さを理解、説明できるような人材に育てる教育をしてほしい。
子どもが1日どんな様子だったのか分かるシステムがあるとよい。
現在の教育環境はとても良いと思います。
子どもが安心安全第一に学校生活ができるよう望みます。現状に満足しています。
今の教育環境に不満はありません。この地域は過疎が進んでいるので学校がなくなるとさらに人口が減るという不安があると思います。移住してくる人が減るのではないかと。中学校の特色などを生かしてほしいです。
クラス人数が少ないので他の学校との交流がありますが異動も大変なのでICTを使ってできないか。小学生には市街までの通学は無理です。
子どもたちがワクワクするような教育環境をお願いします。和泉の教育環境は大変恵まれており、是非大野の子どもたちも和泉に来て欲しいと思います。
和泉小中は必ず残して欲しい。この地域は大野にとって全国に発信していける魅力ある特色になり得ると思う。私が和泉で生きる意味をなくさないでほしい。合併の場合、学校はどこか。和泉か。親が迎えにいくのか。スクールバスで早い時間に帰ってきても困る。ICTの充実ならネットで授業をつなげばよいのでは。少人数であることの方が良いように聞こえる。和泉に来たからこそ輝いている。学力も落ちずについていっている。自信を持っている。多人数だったら無理。
大野市の「ふるさとを愛する」教育のおかげで、中2の娘（小1から5人のクラス、8年目）は私以上に和泉を愛しています。和泉からどんな大変で不便でも「出たくない」と言っています。和泉っ子は全員が郷土愛であふれています。おかげ様です。和泉っ子であることを誇りに思っています。この教育環境を大人が勝手に壊してしまうのは本当にどうなかとします。財源、人口減など確かに厳しいですが大野の先生方が築いて下さった「ふるさとを愛する中学生」を何とか残していただけたらと強く思います。この子たちを守るような再編を強く要望します。
大野の良さは何か、大野の教育の良さ、特徴は何かを考えると、地域とのつながり、少人数での手厚い指導ではないかと思う。それをなくさないようにしないと、人口減少、少子化は変わらないと思います。魅力ある大野の教育を大切にしてください。
グループ活動の中で、小さい学校こそよいところがあるという話が出ました。中学を1校にしてしまうのは危険でないか？ワンクッションおいて2校にしたい。あれは中学は、マンモス校…立て直し大変です。上庄、尚徳は平和ですが、小規模校の良さでは？
デジタル教科書をとどの学校、どのクラスでも使えるようにしてほしい。
ネットワークや情報を上手く活用できる力がつくような教育。新築する際、施設の造りをその分野の専門家や現場で働く人の意見をしっかり取り入れ、使いやすい学校にほしい。
情報化社会、AI化、いろいろ社会が変化していく中で学校で学ぶ子どもたちが、少しでも確かなことを学べるように…と考えると、せめて中学校では免許外を教える必要がないように教員を配置したり、小学校にも外国語教師を配置したりを望みます。
低学年もデジタル教科書を整備してほしい。気がかりは児童生徒に対応できるよう担任以外の人員配置をお願いしたい。
情報化、学校でのネット環境を整えてほしい。教員のやるべき仕事かどうか、仕事の見直し。
1人1台のタブレットは必要だと思います。
いろいろな学びの場を子どもが得られるようにしてほしい。学校が教育の中心だけでなく、コミュニティの中核としての役割も考えてはどうか？
専門家がどの学校にもいる環境がよい。(各教科、SC、栄養教諭など)
IT化をもっと進めて欲しい。
生きる力、たくましいを育んだ教育を。
部活動がある程度の種類があって欲しい。すごく美味しいあったかい給食。

冬場なかなか外に出られないということを活かした活動があると良い。
全教室にエアコンをつけて快適に授業を受けられるようにしてあげてほしい。
子どもの立場になって一番良い環境を考えてもらいたい。
基本的に再編賛成派です。今日、教育委員会の方々のお話を聞き、大野の教育環境のことや子どもたちのことをよく考えてくれているのがすごく伝わってきました。反対意見のある方ももちろんいますが何より大人たちの都合より子どもたちのより良い未来のために再編を考えていてもらいたいと思いました。ランドセルを統一したいという意見もありましたが、私は個人個人の自由がいいなと思いました。ランドセルでもナップザックでも何でもいいのが良いです。
小学校以上だと学校と親の関わりがすごく減ると聞いたので、意見できる場、相談できる場を定期的に設けて欲しい。
発達障害児がどういう形で学校生活を送るのか、いまいよく分かりません。自分の子どもは発達障害の診断を受けているので、他の子と同じように授業を受けられるのか、もしパニックを起こしたら学校側でも対応してもらえるのか、また言語遅滞のある子どもにどのような対応をもらえるのか、心配は尽きません。自分の子ども1人のために学校にいるような要求をしても良いのか、それも迷うところです。
ハコモノにこだわらず不登校でも学習の遅れが出ないよう、ICTの活用や学校から遠い子が部活動が出来るよう、移動や学習に差が出ないかが心配で配慮して欲しい。
少人数だからこそその密な関わり合いが望まれる。また小学校だけだと専門の先生の配置も出来ればお願いしたい。
上庄地区で育った小学校時代の思い出、地域のひととの関わりがあったから今の自分がいます。ここで子育てしたいと考え、大野に戻って来ました。小学校の時期は環境がすごく大事だと思います。心豊かな大人に育てて欲しい。是非上庄小学校を残して下さい。よろしくをお願いします。
AI、ICTを最大限に利用した教育。地域を巻き込んだ教育。
小学校は少人数で先生が目が届くようにして欲しい。
再編について、子ども、親、地域のつながりがあるような環境にして欲しい。
田舎なら田舎らしさで押しつけて欲しい。①病院が遠い。②警報(雨・雪)が出ても学校が休みにならない。(大雪は昨年からは休みになるようになったが)警報は1つの判断基準にならないのか?③南校、東校しか分からないが表現、ダンスの演技が運動会にないのは練習時間がないから?前半は学年ごとに50m、80mを走るのを見ているばかり。④ランドセルが重い。経済的に負担。ナイロンリュック型でもよいのでは。⑤雨、雪など室内で幼児が遊べる場が少ない。(狭い)
大きな学校で多数の学校職員による多種多様な考えの下、子どもの多様な可能性を花を咲かせる学校環境が望ましいと思う。
二言目には「働き方改革」、「学校行事だ」と言ってPTA活動やふるさと学習を削る校長、教頭なので困っている。統合前に学校と地域を離すことが目的かとかんぐってしまう。
ルールを少なくして欲しい。きまりは多くの人と一緒にいる時、あった方がスムーズに過ごせると思います。しかし、きまりがない方がよく考えられるになる。失敗して怪我をする、させる、迷惑をかけて気をつけるようになるなど、身を持って学ぶようになる。きまりがあった方が良い結果にはやくたどり着きますが、きまりが少ない中で動くことは自分で自分の行動を考えるようになる。選択するようになるための練習になったり、家族で話し合ったりすると良いチャンスになり得ると思います。
ICT機器を利用した教育にこだわる必要はないと感じます。
学級の中で10人未満でも構わない。その方が良いと考える。保護者(親)がいることはおかしいのか。そう考える親が少ないのは時代遅れなのか。
子どもがのびのびと育て意見を述べられる環境。
プールの回数を減らさないで欲しい。監視員であるならPTAとも連携できると感じるので回数を維持して欲しい。例えば市内の各学校持ち回りで回数を維持して欲しい。子どもの楽しめる機会を増やして欲しい。保護者と学校が相談して決めるようにして欲しい。
自信を育む学校に期待します。
これからの時代、ICTなどをどんどん活用して同じ空間にたくさんの人を集めるのではなく「つながる」ことを大切にしていけばいいのではないかと思う。
タブレットは賛成です。これからはグローバルな社会に対応が必要です。
大人数になるとすべてに大変。子どもにも教員にも目が行き届かない。

4 地域について(ふるさと教育、地区の衰退等) 【アンケート結果 P86~87】
大野高校の空き棟を活用した奥越中高一貫など高校まで大野で育てる環境。再編による新校舎、既存教室の改修に合わせて、IT環境と人材確保、養護児童、生徒空間の確保。地域の支えで行っている行事が学校にとって不可欠なものか、各校で地域協議会を活用して洗い出し、そのうえで学校の機能を地域ごとに固める。
里山を守る為に地域保全向上活動を実施して交付金を出したり、中部縦貫道の開通に向けて道の駅を開設するなど農村部への活性化を進める一方で、コンパクトシティ化を進めている。そのままではいずれ里山を守る人々がいなくなり里山は荒れてゆき、道の駅に特産品を出品する人がいなくなる。やはり農村部に人が残っていけるような教育環境を守っていくことが大切だと思う。コンパクトシティ化の先に何があるのか?町中に年寄りがあふれ、デイサービスや介護施設が増え、若者は市外へ勤務するようになり、いずれ大野に残るのは年寄りだらけになるのでは?

地域と結びつきながら、よりよい教育の実践を目指してほしい。
大野市の自然、田畑を守り育てる人を教育することが必要。又、義務教育無償にどのように接近するかも大事な教育環境。大野をテーマにした学習をしていて子供たちは、知らず知らずのうちに大野の事を知る機会となっている。それが大野を大切に思う気持ちにつながっている。
学校は地域のコミュニティの核であり、学校がなくなることと和泉、上庄、小山、乾側、阪谷、富田地区は慎重にしてほしい。子供は地域の宝です。
大規模の学校を作ってもいいが、必ず小規模校を少しは残してほしい。もし、不登校になった場合、居場所を残してあげて欲しい。学校はすべての人が学ぶ場であるという言葉にはっとさせられました。子供が少ないなら、地域の人がコミュニケーション力(これからの時代を生きる力)を高める人材となるのはどうだろうかと思いました。
・再編はやむを得ないと思っているがこれから孫の世代、そしてその次の時代を考えていかなければと思う。・小学校は地域にやはりあるべきだと思う。
学校での子供の教育に観点を限定したアンケートだと思いますが、学校教育に限定したとしても、問3~11では片手落ちと思う。通学距離が遠くなる。地域が学校から遠くなる。市全体の子供の数は学校が減っても変わらないのに、教職員数は激減する。他にもいろいろ、学校教育にのみ関係することとしても影響する要因はたくさんある。本来は、この他に家庭の教育力、地域の教育力の観点でも考えなければいけない。問3~11の内容では、統合して作る学校という部分が抜け落ち、今ある学校がどんな現状だといいかを問うることになる。
市外に在住している者ですが、身内が大野で暮らしている様子を目の当たりにすると、大野市の現状に合った教育方針があっても良いように思います。他の市町では学ぶ事が出来ない、体験することが出来ない素晴らしい社会資源があるので、それを活かしたアクティブラーニングをすすめても良いと思います。
子どもが大人になってから戻りたい地域、学校になるといいと思います。
農業や林業、祭りや雪遊びの活用、水や米の活用など大野ならではのそれぞれの地域の特色を取り込んだ教育をしてほしい。(続けていってほしい)地域の文化、人材を活用し市外から子どもが呼び込めるような学校(できるなら福井初の特認校)を作してほしい。保育園を教育の一部としてとらえてほしい。保育士の待遇を改善し子どもを安心して預けられるように。放課後、夏期・冬期の子どもが居られる場所を作って欲しい。外でたくさん遊べるように。優秀な教員の育成、獲得に力を入れて欲しい。市外に大野は教育に力を入れているとアピールできるように。部活は校外のクラブ活用など柔軟に対応してほしい。教育と福祉を一体のものだととらえ小児医療体制、共働きへのサポート等、大野は子育てしやすいと思われてほしい。勝山、永平寺と比べ今は全くそう思わない。
地域とのつながりを大切にしてほしいと思う。地域の協力なくして学校はないと思う。学力だけでなく心の教育にも重きを置いてほしい。命の大切さ、感謝の心、他を認めるなど。
地域における子どもを育てる組織、仕組みを見直すことが必要だと思います。学校区というより、生活している区域のつながりを子育てに生かせる仕組みこそ見直すべきだと考えます。
どのような形になっても地域と行政の関わり方が大切だと思います。
今の教育環境に不満はありません。この地域は過疎が進んでいるので学校がなくなるとさらに人口が減ると不安があると思います。移住してくる人が減るのではないかと。中学校の特色などを生かしてほしいです。
新しい学校の伝統はない、特色はない、地域もない、人がいない、でも子どもだけ多い、地域の協力は無いということになりませんか。
私は、外部から新採用で和泉に来ました。和泉での地域と深く密着した教育にとってもびっくりすると同時に、とても素晴らしいものだと感じました。この温かさがなくなってしまうといいなあと思います。
小学校は地域に残してほしい。
いろいろな学びの場を子どもが得られるようにしてほしい。学校が教育の中心だけでなく、コミュニティの中核としての役割も考えてはどうか？
地区・地域のアイデンティティが低下することがないような配慮を！
地域の方の協力はとても大切です。どうこの地域力を学校に生かしていくかの具体的な案を準備していただきたい。その際、教師の負担にならないようお願いしたい。
様々な地域の子どもが集まるので放課後の過ごし方や長期休暇の預け先がどうなるのか不安です。子どもが地域から少なくなり村に活気がなくなっていくのを感じます。クラスに配置する先生の数を増やして欲しいです。勉強が苦手、分からない時に手厚く見てくれると嬉しいです。
小学校がなくなると地区がなくなってしまうと思う。本当に少なくなってからではダメなのか。この環境で子育てがしたいと思える所にして欲しい。人口が減ることばかり考えていてマイナスな感じがする。
中学校統合は今すぐにも大賛成。小学校合併は1クラス20人以下になってきたら仕方のないことだと思う。この上庄地区から小学校がなくなると若者、子どもがいなくなる。上庄地区をなくさないためにも上庄のような農村部に再建することも視野に入れて欲しい。
ITやAI教育が進んだら、その分、他人の気持ちを思いやる教育も同じだけ大切にしていけるべきではと思います。(授業だけでなく学校生活すべてにおいて)再編はすでに決まっていることなのですが、そこに子どもがいる限り学校は残して欲しいと思います。子どもは地域の中で地域の人と共に育てられるのが理想です。
新しい教育環境=学校教育+児童・高齢者福祉+生涯学習、新しい学校=学校+児童センター+公民館。子どもと高齢者の課題を一緒に解決する。日中の総合学習や放課後児童クラブに高齢者が育て役となる。下校時のスクールバスを高齢者も活用し、地域の足とする。また地域内で活動する様々な人が課外授業の先生となり、地域全体で学校を育てる。人口減少が進む中で子ども達を見守る「目」が地域内で少なくなっている。子どもが成長する過程で出来る限り多くの「目」で守り育てる環境を作る必要があるのではないかと。

和泉特区にして学校の枠をなくした活動を増やしても良いと思う。(スポーツ、伝統芸能) 和泉に来たいという家族、独身者に貸せる家、またそういったことで地元と間に入ってくれる窓口が欲しい。ネット検索ですぐ分かるようにして欲しい。和泉が限界集落にならないためには学校は必要だと思う。子どもたちはどう考えるのか知りたいと思った。

理想とか望ましい生徒数や学級数はあるけれども地域の事情やいろいろな事が考えられるので一概には答えられない。

地域の一員として見守り隊を楽しくさせていただいています。もっと地域の人を活用してもらえると嬉しいです。地域の人々を活用して若者も高齢者もそれぞれ役割分担が出来るといいです。アンケートで問うことも大切ですが今日のようにいろいろな方が話し合える場があることが、世代の違う人同士が話し合う場が大切だと強く思いました。

大野市全体的にボトムアップも良いが各地域の独自性を確保したい。

学校の主人公は子ども。子どもためには学校の先生の環境、そして子どもは地域で育つことが原則で大切だという意見は良かった。

合併して12年、学校を無くすことは地域を無くすことにつながる。

学校は地域のコミュニティの核であり、地域の特性を活かしていくべきです。